

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2372002309
事業所名	グループホームふくろう

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	自治会に加入。自治会長、民生委員とは普段から情報共有、および、相談をうける協力関係にある。地域行事への参加、事業所行事への地域の人の訪問はコロナ禍のため、現在は中止している。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	運営推進会議は年に六回開かれており、参加者は自治会長、民生委員、新聞社役員、地域包括など多岐にわたり人数も15名を超えるが、コロナ禍で事業所への立ち入りに制限があり、書面での会議を行い、議事録を送付し意見を求めている。会議で介護制度やグループホームでの生活について理解してもらい、参加者の横のつながり、縦のつながりを活かし、各方面への連携が広がっている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の担当者との連携は密であり、民生委員や地域からの相談にのり市との間にたってやりとりをすることもある。研修には参加している。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	毎月ふくろう通信を発行し、事業所内まで訪問できない現在の入居者の様子を豊富な写真でわかりやすく伝えている。訪問面会時、あるいは電話連絡を利用し、家族の意見をきくようにしている。入居者とともに家族あてに手紙を出し、関係が途切れることがないよう支援している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	◎	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	◎	○									

備考欄